

# 「子どもと地域をつなぐ絆をつくる～支援から協働へ～」

—未来を担う子どもたちの成長を支える体制づくり—

清須市学校支援地域本部

統括コーディネーター 武島 敦子

## 1 活動の概要・経緯

年度	事業形態	対象学校	コーディネーター	主な活動
平成20年度	国の委託事業	①西枇杷島中学校 ②西枇杷島小学校 ③古城小学校	教頭先生 3名	・読書活動推進支援 ・見守り隊 ・中学生ボランティア ・小学校での環境整備
平成21年度	〃	〃	2名	・夏休みの環境整備
平成22年度	〃	〃	〃	・読書ボランティア養成講座① ・中学校での防犯パトロール ・中学校での環境整備
平成23年度	補助事業 (国県市)	④清洲東小学校 ⑤春日小学校	3名	・読書ボランティア養成講座② ・ボランティア募集チラシ配布 ・地域の伝統継承 ・放課後子ども教室への支援
平成24年度	〃	⑥清洲中学校 ⑦星の宮小学校	4名	・読書ボランティア養成講座③ ・中学校家庭科実習支援 ・楽器運搬支援
平成25年度	〃	⑧清洲小学校 ⑨新川小学校	〃	・読書ボランティア養成講座④ ・市立図書館との連携事業開始 ・防災教育開始
平成26年度	市の事業	⑩新川中学校	11名	・読書ボランティアステップアップ講座 ・PTA総会預かり支援
平成27年度	〃	⑪春日中学校 ⑫桃栄小学校	16名	・統括コーディネーター配置 ・シニア地域デビューモデル事業
平成28年度	〃	4中学校8小学校	17名	・愛知県河川課「みずから守るプロジェクト」 ・総務省「若年層に対するプログラミング教育の普及推進事業」 ・「学校図書館の設備充実に関する調査研究協力者会議」出席
平成29年度	〃	〃	〃	・総務省「若年層に対するプログラミング教育の普及推進事業」 ・「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰
平成30年度	〃	〃	〃	・親子わくわくプラザ(子ども食堂)開始 ・西枇杷島中学校「年安全功労者内閣総理大臣表彰」

## 2 学校支援地域本部から地域学校協働本部へ

学校支援地域本部事業は、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てる体制をつくることを目的として始まりました。「地域みんなが学校を支援する」ことにより、

- ①教員が、子どもと向き合う時間が増え、学校教育活動が充実する
- ②地域住民が、社会教育で学んだ学習成果を生かす場所が広がる
- ③学校を核として、地域の教育力が向上することにより、安心、安全な地域づくりができる等の効果が期待できるいわれてきました。

地域学校協働本部とは、従来の学校支援地域本部等の地域と学校の連携体制を基盤として、より多くのより幅広い層の地域住民、団体等が参画し、ゆるやかなネットワークを形成することにより、地域学校協働活動を推進する体制です。

地域学校協働本部の整備にあたっては、従来の学校支援地域本部等を基盤として、地域による学校への「支援」から、地域と学校双方向の「連携・協働」を推進し、「個別」の活動から「総合化・ネットワーク化」へと発展させていくことを前提とした上で、

- ①コーディネート機能
  - ②多様な活動（より多くの地域住民等の参画による多様な地域学校協働活動の実施）
  - ③継続的な活動（地域学校協働活動の継続的・安定的実施）
- の3要素を必須とすることが重要であるとされています。

清須市の学校支援地域本部の活動は、「学校を支援する」という目的のもとに地域の人々が集まる事業は、地域づくりという観点からも大変意義あると考え、取り組んできた経緯があります。制度的に、地域学校協働本部が設置される時期は、現在のところ未定ですが、実際の活動は、すでに地域学校協働活動であり、3要素を常に念頭におき、活動しています。

## 3 コーディネーターの配置とコーディネート機能の強化

### (1) コーディネーターの配置

学校支援地域本部事業を行う上で、地域コーディネーターを置くことが、必須条件でした。

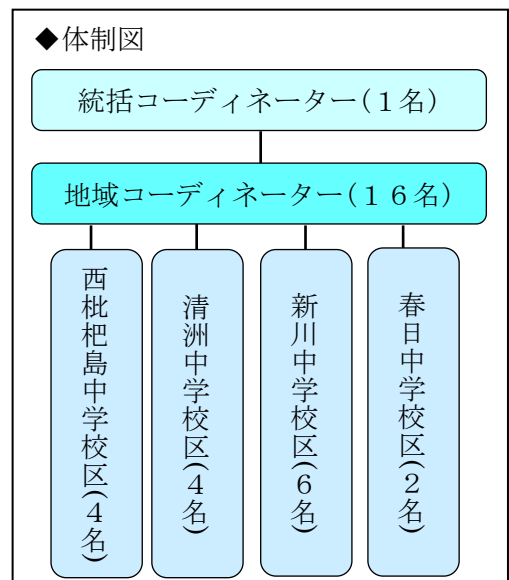
平成20年度の開始当時は、学校と地域の窓口は、教頭先生でしたが、2年目になり、当時の協議会メンバーの中から、小学校のPTA会長と民生主任児童委員の2名が、地域コーディネーターとして、活動することになりました。

平成23年度、地域コーディネーターは、各地区1人ずつの配置を活動継続の条件に掲げられたため、清洲地区においては、以前より交流のあったPTA役員であり、読み聞かせメンバーである方をお願いしました。春日地区においては、子育てネットワーカーのメンバーである方をお願いしました。平成24年度新設の新川地区においても、子育てネットワーカーのメンバーをお願いしました。

平成26年度になり、補助事業の制約がなくなったと同時に、各学校単位で、1～2名のコーディネーターの配置が可能となりました。各地区ごとに、4人の地域コーディネーターが、それぞれ勧誘するという形で、地域コーディネーターを配置していきました。

地域コーディネーターは、基本的には、無償のため、学校支援ボランティアとして活動してくれている中で、PTA役員経験者であったり、地域とのつながりの強い方に、地域コーディネーターをお願いし、現在に至っています。

統括コーディネーターは、平成27年に、文部科学省の視察の際に、全体を説明する立場として、統括という名がふさわしいという判断で、名乗ったことが始まりです。もともとは、地域コーディネーターの1人として、活動してきました。



現在は、16名の地域コーディネーターが、中学校区ごとに協力しあいながら、各学校のニーズに応えられるよう対応しています。

(2) 地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)の役割と、望まれる資質・能力

- ・地域や学校の実情に応じた地域学校協働活動の企画・立案
- ・学校や地域住民、民間企業・団体・機関等の関係者との連絡・調整
- ・地域ボランティアの募集・確保
- ・地域住民への情報提供・助言・活動促進 等

地域と学校の橋渡し役として、学校の事情や地域の要望を十分に理解し、地域と学校がパートナーとして協働することができるように働きかけることが大切です。

望まれる人材とは？

- ・地域学校協働活動に、熱意と識見がある
- ・地域学校協働活動に深い関心と理解がある
- ・地域の住民、団体、機関の関係者をよく理解している
- ・学校の実情や教育方針への理解がある
- ・活動を円滑に進めるためのコミュニケーション能力があり人を動かす力がある
- ・課題についての問題提起、整理、解決先の構築等を仲間とともに進めることができる

研修や情報交換を通して、また、実際の活動から得られる経験により活動を進める力が生まれます。

(平成30年2月 地域学校協働活動ハンドブックより抜粋)

## 4 多様で、継続的な活動の推進

(1) にしび夢のかけはしプロジェクトによる親子わくわくプラザの開催

今年度、子育て支援課の補助事業として「こども食堂」を開始することになりました。単なる食事を提供する場だけにすることなく、すべての子どもたちが、それぞれの輝く未来に向けて、夢と希望を持って成長できるよう、「学び」「食」「あそび」の3つを1つの事業として展開していくことで、地域にある様々な機関・団体等や、世代を超えた地域ボランティアと連携を図ることができ、子どもを中心とした地域の絆づくりへと発展させることができると考えました。

・子どもの居場所づくり、・子育て中の母親支援、・大人のたまり場となる地域コミュニティの場所ができることを大いに期待しています。

① 幼児期からの、発達段階に応じた「学び」の場の提供

学習支援については、学校支援ボランティアの中から特に、リーダーとして教員OBに依頼。補助として、大学生スタッフに依頼。

幼児については、子育てネットワークわくわくに依頼。

② 「食」の提供とともに、親子と地域をつなぐ居場所の提供

食事の提供については、地域ボランティアグループ「にしび友愛給食会」が主となり、千春会や、ボーイスカウト等、地域の多様なボランティア団体に協力を依頼する予定。

③ おはなし会や、コンサート、多様な文化や、運動等の機会の提供を、年間10回企画、運営

イベント等については、学校支援ボランティアの中から、アラバスクや、スポーツ推進員等の協力依頼予定。

(2) 放課後子ども総合プラン推進のための活動プログラムの企画・提供

放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の、全ての児童を対象とした活動プログラムを、学校支援地域本部が企画し、提供しています。

放課後子ども教室での定期的な読み聞かせ活動や、イベント時の支援等もおこなっています。

(3) 学校に対する多様な協力活動

## 5 学校支援ボランティアの形態と活動

### (1) 学校支援ボランティアの形態

清須市学校支援地域本部事業で、活動している学校支援ボランティアは、主に5種類に分かれています。

- ①市内全体を活動場所とするボランティア。地域コーディネーターが、直接依頼（ボランティア保険加入者275名平成30年6月現在）
- ②各学校単位で、PTA組織の中に組み込まれている。または、それに準ずる。保護者が主となっている。学校からの依頼。地域コーディネーターが、直接依頼することもある。
- ③地域のボランティア団体や、見守り隊。学校からの依頼。地域コーディネーターが、直接依頼することもある。
- ④中学生ボランティア。学校と連携して活動
- ⑤学生ボランティア。地域コーディネーターが直接依頼。

### (2) 学校支援ボランティア活動

#### ◎読書活動推進の支援

- ・市立図書館の蔵書100冊の貸し出し
- ・読み聞かせ、学校図書館整備・図書修繕等

#### ◎防災教育の支援

- ・防災訓練の支援「にしび防災訓練」
- ・各町内会防災訓練へ、中学生ボランティア参加時の見守り、町内会との調整、打ち合わせ補助。
- ・東海豪雨を語り継ぐ活動の支援「東海豪雨紙芝居」「水防かるた」

#### ◎児童預かり支援…4月26日(木)PTA総会時懇談会終了までの児童の預かり

#### ◎家庭科の学習支援

- ・中学生家庭科「幼児ふれあい体験学習」の支援と引率
- ・調理実習、裁縫、ミシン実習補助

#### ◎生活科の学習支援

- ・「野菜の先生」「おにまんじゅうづくり」

#### ◎学校行事支援

- ・野外学習の指導支援…スタンプ等全3回
- ・ブラスバンド部チャリティーコンサート楽器運搬への支援
- ・校区探検付き添い支援
- ・文化祭での受付業務と作品展示の見守りへの支援

#### ◎見守り支援

#### ◎環境整備の支援

#### ◎その他の支援

- ・1年生給食配膳補助
- ・上巳の節句、端午の節句の設営(ひな段、こいのぼり等)
- ・不用品の回収及び物品の整理整頓や虫干し

## 6 おわりに

地域学校協働活動は、子どもたちが地域の課題を自分のこととして捉え、その解決に向けて自ら考え行動する力の育成や、地域住民による学習成果の活用による地域の教育力の充実にも資するものです。持続的な地域学校協働活動の実施は、地域課題の解決に向けた取り組みや地域活性化・地域づくりにもつながると期待されていますが、目に見える成果をすぐに提供できるものではありません。しかしながら、未来を担う子どもたちに、「生きる力」や「地域に対する愛情」「ボランティア精神」等の種をひたすら撒き続けることに、意義があると信じて、地域学校協働活動がそれぞれの地域に定着していくことを目標に、特色・魅力ある地域学校協働活動を展開していきたいと思えます。